

平成 28 年 3 月 15 日

さくらんぼ保育園

平成 27 年度保育園に関するアンケート結果について

日頃より本園の運営にご協力をいただきありがとうございます。

アンケートを集計しましたのでご報告します。113世帯すべての家庭(100%)の協力がありました。率直で貴重なご意見をありがとうございました。職員の総括会議等で話し合いました。次年度に生かしていきたいと思えます。

項目	評価の内容	思う	どちらとも言えない	思わない	回答なし
保育園の運営	保育方針・保育目標・大事にしている保育内容が伝えられていると思いますか。	105	6	1	1
	園の保育方針・保育目標にそった保育がされていると思いますか。	103	8	1	1
	子どもが落ち着いて生活や遊びをする環境が整っていると思いますか。	97	14	1	1
	子どもの安全について配慮した体制を整えていると思いますか。	87	25	0	1
	保護者に出す文書・事務連絡などはわかりやすいと思いますか。	93	16	3	1
	給食のメニューは充実していると思いますか。	110	2	0	1
	園だより・クラスだよりなどを通じて、園や組の様子がわかると思いますか。	102	9	1	1
	保育園の保育について、あなたの意見や意向を述べやすいと思いますか。	91	18	3	1
	保護者参加行事、クラス懇談会の日程や内容は適切だと思いますか。	88	20	4	1
	保育参加やクラス懇談会、行事に参加することを通して、園の姿勢や子どもの理解を深めることが出来ると思いますか。	102	9	1	1
保育者との かかわり	さくらんぼ保育園では、保護者会との連携を図っていると思いますか。	97	14	1	1
	送迎時の保育士との話や連絡帳を通じ、園や家庭での子どもの様子について情報交換ができていますか。	98	12	1	2
子どもの姿	子どもの心身の健康についてや子育ての悩み等が気軽に相談できていますか。	101	11	0	1
	子どもは保育園に行くのを楽しみにしたり、友達と楽しく遊んでいると思いますか。	105	7	0	1
	子どもは、保育園で年齢にふさわしい遊びをしていますか。	109	3	0	1
	子どもは、保育園で自分の気持ちを表現でき、受け止めてもらっていると思いますか。	101	10	0	2

《保護者アンケート集計結果から》

アンケート結果から、さくらんぼ保育園の運営や保育内容につきまして、多くの方から信頼をいただいていることがわかりました。また、安全面での配慮について、園からの連絡、文書などのわかりにくさ等の意見が寄せられました。

このアンケート結果を踏まえまして、改善できることは努力を惜しまず、より一層保護者の皆さんと子どもを真ん中にしながら、共に育ち合えるようにしていきたいと思っています。

《その他保育園に寄せられた意見（自由記述）結果から》

◎励ましや、うれしい言葉

〈保育方針や保育内容について〉

- 子どもたち、保育士、園を取り巻く情勢はまだまだ厳しい状況が続くが、みんなでさくらんぼ保育園を支えて盛り上げていけるよう、できる限りは協力していきたい。
- 先生方の働き方の向上（保育の制度や保育士の処遇の改善など）に向けて保護者としてできることがあれば（署名など）協力していきたい。
- 若い先生方が産休、育休後も働けるような環境づくりを同じ働く母親としても応援したいし、協力したい。
- 先生方が職を離れずに働き続けられる環境になればよいなと思っている。
- 制度などの変化にも対応しながらの子どもたちの保育に感謝している。先生方と勉強しながら時代の変化も受け入れながら子育てを頑張っていきたい。
- 今後も伝統的な行事（どんど焼きなど）や昔のあそび（竹馬、コマ）などを大切にして保育に取り入れてほしい。
- 保育園でのあそびや生活を通して生き物（小動物や植物）への思い（大切にしよう、お世話したい優しい気持ちをもって接する）がすごく育っていると思うのでこれからも続けてほしい。自然に囲まれた保育園ならではののではないかなと思う
- 安心して預けて仕事に行くことができている。
- 泥んこあそび、感触あそび、リズムなどいろいろな経験をさせてもらい、子どもの成長が目に見える。
- 家ではできない体験がたくさんあって素晴らしい。
- 懇談会に参加すると気持ちが引き締まる。
- 保護者も保育園に育ててもらっている部分がたくさんあり、これからも一緒に成長していけたら良いなと思っている。
- 些細な一つひとつがとても素晴らしい成長の一步なんだと気づかせてくれることが嬉しい。今がとても貴重な瞬間なんだと感じる中で過ごせることがとても幸せ。行事や楽しい企画もたくさんある。
- 個々をきちんと見てくれていると感じる。
- 給食メニューに関して、栄養面やイベントなど充実していると思う。
- 給食では素材を大切に、出汁もしっかりとってくれて、本当にありがたい。
- 親でも神経を使い大変なアレルギー対応を園でもしてくれて、給食もおやつも安心して子どもに食べさせることができる。
- 食を通して季節を感じたり、色々と学ぶこともでき、子どもたちも幸せだった。
- 衣装にこだわらないひなまつり会がとても良いと思う。凝った衣装ではないのに子どもが生き生きと演技していて感動した。子どももとても楽しみにしている。

〈保育者とのかかわり〉

- ・親身になって聞いてくれるのでとても相談しやすい。
- ・安心した環境で友達と楽しく遊んだり、おいしいご飯を食べさせてもらったり、先生に甘えて受けとめてもらったりして、日々園に通うことが保護者にとっても元気になるありがたい場所。
- ・お迎えの時、先生が一日の子どもの様子を話してくれる。
- ・どのクラスの先生もいつも笑顔であいさつしてくれて、とても嬉しい。
- ・クラス担任はもちろんのこと、他のクラスの先生からも時に声をかけてもらい、園全体で子どもをみてくれていると嬉しくなる。
- ・他のクラスの先生が子どもの名前を憶えていてくれて祖父母が驚き感心していた。
- ・毎日細かく園での様子を伝えてもらい、子どもの成長を知ることができてうれしく、お迎えも楽しみ。
- ・時間がないときは連絡帳で子どもについての相談にのってもらえて助けられている。
- ・先生たちと子どものことを話せて、心救われている。
- ・病後児室と園の連携がとれていて、病後児室での子どもの様子を担任が知っていて、クラス保育に戻った時にスムーズだった。
- ・先生が温かく子どもたちを見てくれているのがよくわかる。
- ・丁寧な対応（送迎時、連絡帳、懇談会など）で子どもや、クラスの様子が分かりありがたく思う。
- ・いつも子どもたちのことを考え、その子にあった対応をしてくれて感謝している。
- ・入園後、トイレトレーニングなど保護者の要望に応じてくれたり、状況に応じての対応や対処をしてくれたので安心して預けることができています。
- ・年長で親も不安が多かったが、たくさんある行事はわかりやすく、子どもにも親にも伝わりました。一歩ずつ進めてくれたと感じている。
- ・年中から年長へは同じ担任であるといいなと思う。
- ・保育内容や子どもとの関わりを熱心に考えてくれて感謝している。
- ・自分の気持ちを上手く表現できない子どもたちをいつも温かく見守り導いてくれてありがたい。
- ・毎日長時間預かってもらい感謝している。子どもたちへの対応の仕方など目から鱗な事も多く勉強になる。
- ・先生が一所懸命で素晴らしい。

〈子どもの姿〉

- ・毎日嫌がることなく楽しく保育園に通えて嬉しく思っている。
- ・子どもが不安になるとき、十分に受けとめ関わってもらえて感謝している。
- ・友だちとあそぶことを楽しみにしている環境をつくってくれてありがたく思う。
- ・仕事でお迎えも遅く、子どもに寂しい思いをさせてしまっているが、園の皆さんに愛情いっぱい接してもらい、大きな心配もなく成長できていると思う。
- ・保育園生活に慣れるまで、本人の気持ちに寄り添って接してくれたり、大きいクラスのお友だちに優しく接してもらいすぐに園に慣れることができた。
- ・園を変えようかと迷った時期もあったが、子どもが「さくらんぼ保育園大好き」と言っている。
- ・心身共にのびのびと大きく成長していることがとてもうれしい。
- ・家庭で一緒に過ごせる時間が少なく、保育園での方が子どもらしく過ごしているのかなと感じ反省する。
- ・友だち関係が築けるように育ててほしい。
- ・先生に対して、自分の気持ちを表現できる関係になっており、とても良いと思う。

◎改善してほしいこと…カッコ〔 〕内は改善の内容です

〈安全面〉

- ・園庭での乳児クラスのアソビ場が柵などで区切られていたり、芝生があったりするとより安心して楽しく遊べそう。

〔狭い園庭ですので柵は設けられませんが活動を工夫しながら、安全にあそぶことを心がけています。園庭以外のアソビ場でも楽しく遊んでいます。〕

- ・駐車場へ子どもが走って行ってしまうのは保護者が責任をもって見ていかななくてはいけないが、横断歩道では徐行最優先であるが歩行者も車もお互いが見えにくいので鏡などがあるとさらに安全かと思う。(2人)

〔鏡の設置については検討していきます。ご意見にもあるように、一人ひとりが徐行運転を心がけたり、大人と一緒に横断歩道で一旦停止をするなど車と歩行者と双方で安全確認をしていけるといいですね。〕

- ・早朝など延長保育の時間帯に、先生の目の届かないところであそんでいる子どもたちがいる。気づいたときは保護者からも声をかけるようにしているが先生も少なく心配。何か対策をとってほしい(2人)

- ・休み明けの登園時は職員の人数を増やしてほしい(子どもがぐずっても先生が他の子どもに対応していて預けられないことが多いため)

〔職員の人数については、対比を守るように配置しています。朝の登園時には子どもを必ず担任や、担当保育士の元に連れてきていただくと共に、子どもたちと過ごし方について話をして確認したり、職員もより意識して声をかけていきますが、気がついたときにはお知らせください。混合時間帯は担任ではない職員にも声をかけていただき、お子さんをお預けください。〕

〈職員に対して〉

- ・子どもの様子を伝える話が長くなりそうな時、朝は忙しいので夕方にしてほしい。

〔“今お話しして大丈夫ですか？”と確認するなどして気をつけていきます。〕

- ・個別の関わりを充実してほしい。〔集団の中で、個々も大事にできるような保育を今後も努力していきます。〕

- ・入園して子どもが体調を崩すことが多く、休みを取ることが多いことで職場に申し訳なく思う中、子どもに無理をさせてまで保育園に行かせたことも何度かあった。薬を使って熱が下がり登園した日は園ではどのように子どもの状態を看ているのか知りたい。保護者の働き始めや入園当初の親の気持ちを汲み取ってもらいたい。(祖父母が近くにいないなど、協力を得られない人も多いと思うので)

〔保護者の置かれている状況や気持ちを汲み取る努力を今後もしていきながら、子どもの体調が心配な時、担任もその子に合わせたできる限りの配慮をしている日中の子どもの様子を必要に応じて丁寧に伝えていきたいです。また、就労を保障するための手だてを一緒に考えていきたいです。〕

- ・『連絡帳にかえて』『クラスだより』に登場する子どもが毎回同じなので平均的にするか、無記名で載せてほしい。

〔毎回同じではないように配慮するとともに、クラスの子どものたちの姿を我が子同様に受けとめていただけると嬉しいです。〕

- ・園庭であそんだあとのズボンの砂や土を少しでもはらい落としてもらいたい。(子どもが多く大変だろうが)〔意識して気を付けていきます。〕

- ・連絡や持ち物、準備物などが、たまにわかりにくいことがある。
- ・日程などの誤記が多いので配布前のチェックをしてほしい。
- ・行事の際などの持ち物等のお知らせが事前に配布されたお便りで書き漏れている場合、前日に掲示板に書かれていても、親以外のお迎えだと伝わらないことがある。メールで持ち物などのお知らせはできないか？
〔誤記等については十分に気を付け、わかりやすい伝え方を工夫していきます。全体行事などは必要に応じてメール活用を検討していきます。また、当日ギリギリでなく余裕を持った伝え方を心がけていきます〕
- ・今年は年度の途中で辞める先生がいたが、色々な事情があるとは思うがなるべく子どものためには年度末まで働いてほしいと思う。
〔私たちが残念に思っています。ここで働きたい思いを持ちながらもそれぞれの事情でやむを得ず職場を去った点をご理解ください〕

- ・一日の中に『動』と『静』のあるメリハリのある生活を心掛けてほしい。
- ・学校での生活にスムーズに移行できるような生活を意識してほしい。(学習につながることやマナーなど)
〔一日のあそびや生活の中では『動』と『静』は大切にしていきたいと思います。就学へのスムーズな移行については何をスムーズと捉えるかで大きく違ってくると思っています。自分のことが大好きで、思いを言える、“元気、やる気、根気”のある子…そんな土台づくりを大切にしていきたいと思っています〕

- ・描画はいろいろな色を使える環境にしてあげる必要があるのでは？そのための個人のペンやクレヨンを各家庭で用意してもいいのでは？
〔0才～5才まで取り組んでいる『描画活動』では、子どもの生活の中の“伝えたい思いを表現する”ことを大事に取り組んでいます。そのために、思いをスムーズに表現するために持ちやすく、滑りのよい描きやすいペン。そのペンで滑らかに描ける紙と、自由に大胆に思いを語れるような大きさの紙面、何枚でも描きたいという思いに応えられるように購入しやすい価格のもの等、用材を選んでいます。そして伝えたい思いを1色のペンで描き上げる集中力も大事にしています。伝えたい、語りたいたい思いにあふれた描画1枚1枚は単色で描かれていますが、見る側には子どもの思い、願い、生活の情景が色彩豊かに表現されるように感じられます。また、思いを伝える描画活動と同じく、色を使って一枚の作品として描き上げる力を付けていく保育を目指しています。描画活動の他にも絵具を用いた共同制作などの絵画活動や、感触あそびなどでも絵具、食紅、朝顔の花などの自然物など様々な“色”に触れる経験をたくさんしています。その活動に使う物は園で用意していきます。5才児になると固形水彩絵の具を個人で持つようにしています。〕

- ・子どもへの言葉がけ、接し方など時々気になる。乳児には特に“やわらかく、優しく”子どもの思いや発達を考えて接してほしい。
- ・保護者同士の会話に、あいさつもなく、いきなりその会話と関係ない話題で割り込んでくる先生がいる。声のかけ方やタイミングなど考えてほしい。
- ・保護者によってあいさつをしたりしなかったりする先生がいる。保護者からあいさつをしないとあいさつしてくれない。
- ・お迎えの時に、紙芝居を読んでいる後ろで職員が大声でしゃべっていた。この様子を見て、日中も子どもたちは静かに聞いているのに職員が騒がしくしていることがあるのかと感じてしまった。
〔園全体で確認しあったり、職員一人ひとりが自らの姿勢を真摯に振り返ったりする中で改善していきます〕

〈行事などについて〉

- ・保護者参加行事やクラス懇談会は月の中旬にやってもらえるとありがたい（月始め、月末は忙しい）
〔様々な状況があり、日程の要望にお応えできないこともあります。できるだけ早く日程をお知らせするようにします。〕
- ・運動会で2歳児のリズムがなくなってしまったのが残念。
〔プログラムの時間配分などの都合で競技内容をその年によって変更することがあります。今年は2歳のリズムは『親子ふれあいあそび』の中でリズム遊びを取り入れました。〕
- ・年子だと、懇談会が同一日は助かる一方でどちらかには参加できず、すべての懇談会に参加できなかった。
- ・第3回の懇談会では4歳（役員決め）5歳（ひなまつり会や卒園式に向けての話合い）の年子の家庭は参加が大変なので日程を変えるといいのかと思う。
〔保育体制もとっておりますので、ご夫婦での参加など工夫できるといいですね。〕

- ・おさがりバンクで余った服はどのようにしている？どこかに寄付しているのか？
〔おさがりバンクは園児保護者、子育て支援利用の保護者に大変喜ばれました。残りの衣類は市民フェスタやリサイクルに回すなど有効活用していく予定です。〕

- ・すべて事後報告で決定事項として知らされるようになったことが残念。（以前は保護者の意見を聞いてから決めていた）
〔園運営をおこなう上では、理事会や園長会（理事長、つくし保育園園長も出席）、職員会議等で、また様々な協議の場（保護者役員会、運営協議会、運動会実行委員会など）にも諮り組織的な対応に心がけていますことをご理解ください。〕
- ・保育園が変わった、昔はよかったという保護者の声を検証せず改善しようとしめない今の体制のままだとこのまま改善もなく変わらないと思う。
〔まもなく創立50周年を迎えようとする長い歴史の中で、基本理念を土台にしながら、目の前の子どもを一番に考えて保育実践をしてきました。職員も学習しながら自己研鑽を重ね、発達を学ぶことで成長過程での見通しをもちながら保育をし、情勢をつかみ社会全体がより良い方向に向かうための運動を大事にしてきました。開かれた保育園運営のために第三者委員の方々にも相談し、園だけの考えに偏らないように努めています。昨年したことをそのまま行うのではなく、子どもの実態を掴みながら毎年“昨年よりも、今年は…”と活動を作り上げていることにご理解ください。〕

〈連絡事項など事務的なことについて〉

- ・4月の行事は入園前に知らせてほしい。行事一つひとつを事前に具体的に教えてほしい。
〔入園説明会で、保護者を巻き込む行事については知らせるようにします。不明な点はその都度担任や事務所にお尋ねください。〕
- ・行事の日程は2か月前に知らせてほしい（職場に休みを申請する関係で）
〔保護者参加のある主な行事は、年度のはじめに年間行事予定をお配りしていますので参考にしてください〕

・季節ごとの必要なもの（購入するもの）は早めに知らせてほしい。

〔入園説明会、毎月発行のクラスだより、年3回のクラス懇談会などで、先を見通して購入品などを伝えるようにしていきます。〕

・配布物があった日に、連絡ポケットに入っていなかったことが数回あった。子どもが抜き取ってしまう可能性もあるので、配布物を置く場所の再検討をしてほしい。

〔未満児クラスではポケットの位置を見直します。以上児クラスでは“自分で身支度をする”を大事にするために子どもの手が届く高さにポケットがあります。何を配布したのかをお知らせし、確認できるようにしていきます。〕

・連絡帳にかえての日でも、保護者が連絡帳に子どもの成長に関することを記入したときはコメントしてくれると嬉しい。

〔必要に応じて声をかけたり、後日の記入等で対応します。日中、クラスでの話し合いや職員会議、打ち合わせ、教材準備などやることがたくさんありますことをご理解ください。〕

〈その他〉

・病後児室利用時間を長くしてほしい。（朝は早く受け入れてほしい、夕方を遅くしてほしい）

〔市の委託事業であり、制度上現状の利用時間が基準です。また、病気後だけに出来るだけ早めのお迎えも大事だとも思っていますが、どうしてもという時は園の裁量の範囲内で対応できる場合もありますので、ご相談ください。〕

・意見を気軽に言えるようにアンケートBOXが常設されているといい。

〔保護者の意見は宝と考えていますので、日ごろから職員に直接お気軽にご意見をお寄せください。〕

・布おむつはとても良いと思うが金額が大きい。（2人）

・おむつの使用分をカウントして保護者に請求したほうが園も保護者もいいと思う。

〔布おむつは今後も大事にしていきます。料金体系については現状をみながら再検討していきます。〕

・上服、ズボンは名札でなくて、どこかに名前を記入するというのもいいか。（すべてに名札をつけるのは負担に思う）

〔働くお母さんにとって、手間のかかる大変な作業だと思いますが、集団生活をするうえで誰の物かわかりやすかったり、子どもたちにとっても決まった位置（左胸やおへその位置）の名札は、衣類の前後ろが分かるなどの観点からも必要ですのでご理解ください。〕

・送迎用駐車場の真ん中の列の入り口に車を停めないように、わかりやすく印をするなど周知してほしい。（見通しが悪くて危険だったり、入りにくい）また、3月の説明会の際に説明し、家庭においてもお父さん、祖父母などお迎えに来る方に伝えてもらうようにできるといいかなと思う。

〔駐停車禁止がわかるようにロープをはります。また、入園説明会でも丁寧に伝えたり、文書を出すなど周知したいと思います。ご家庭でもお迎えに来る方にお伝えいただけるとありがたいです。〕

・インフルエンザ予防接種は強制できないものの、接種を勧めてほしい。みんなで接種して予防できる。

〔みんなで接種して集団内での感染を予防できるといいと思いますが、個々の判断にもよりますことをご理解ください。〕

・手洗いの際、石鹸（泡）の使用をしてほしい。

〔石鹸の用意の仕方は、年齢に応じて子どもが自由に使えるところに置かない場合もありますが、各クラスで用意して対応しています。〕

・保育園の送迎に関わらないと、園の様子、情報交換、子育ての相談などできない環境であると感じる。

〔必要な時は前もってお知らせいただき、時間をとって対応しますので遠慮なく声をかけてください。〕

・写真代を雑費で徴収するようになったら、枚数と請求額が合わないことがあった。

〔雑費で写真代を徴収しなければならないので枚数や請求額を間違えないように気を付けます。〕

・提出チェックするところには必ずペンを一緒に置いてほしい。

〔置くようにしているのですが、なくなってしまうこともしばしばあり、気を付けていきます。見当たらないときは声をかけてください。〕

・上履きを室内に置いてほしい（テラスに置いてあり、朝冷たくてかわいそう）

〔子どもたちに対してできる限り広い空間で生活することを保障するためにも、室内に上履きを置く場所を設置するのは現状では難しいことをご理解ください。〕